

〔第14回〕

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

免疫老化と炎症制御

炎症・免疫機構研究部

丸山 光生 部長

2023年4月18日(火) 15時00分～

第1研究棟2階大会議室

私たちの平均寿命は20世紀に比類ない延伸を遂げ、いまや人生100年時代を意識することも多くなった。同時に高齢者が健全に過ごせる高齢化社会の実現に向けた寿命研究、老化研究が注目され、更なる健康寿命の延伸につながる持続可能な研究が肝要となっている。私たちのグループでは免疫系の老化機構の解明を目指して複数のモデルマウスを用いた基礎研究を通して個体老化に伴う免疫機能の低下に関する解析に取り組んでいる。これまでに免疫老化関連遺伝子 *Zizimin2(Dock11)* を指標にした機能解析を中心に *Dock11* が獲得免疫系におけるB細胞分化に関わる成果を中心に説明した。今回は免疫老化で最も顕著に低下するといわれる二次免疫応答における *Dock11* の機能解析と細胞老化マーカーとして知られる *p16ink4A* を老化の指標として新たに作出した老化細胞可視化制御ノックインマウスモデルを用いた個体老化の免疫制御に関する知見をこれまでの成果の続報として進捗を報告する。

またこれまでに外部との共同研究として免疫老化、炎症を制御するプレバイオティックスを自然加齢育成マウスに長期食餌介入研究から得られたエビデンスについても可能な範囲で紹介したい。

座長：清水 孝彦 プロジェクトリーダー

連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)